

2025年3月期 第3四半期決算概要資料

三菱HCキャピタル株式会社

2025年2月14日

- 本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態、その他経営全般に関する予想、見通し、計画、目標等の将来に関する記述が含まれています。
- これらの記述は、本資料作成時点で入手可能な情報から得られた当社の仮定や判断に基づくものであり、その性質上、一定のリスクや不確実性等が内在しており、将来に実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。このような事態の原因となりえる不確実性やリスクの要因は多数あります。
- 本資料に記載された計数は、それぞれに切り捨てて表示しており、端数において合計と合致しないものがあります。当社は、本資料に記載された情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておらず、今後、予告なく変更されることがあります。
- 本資料は、日本国内外を問わず、投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は利用者ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。
- 本資料をご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料における表記・計数の定義

■ MHC	: 三菱HCキャピタル	■ アセット関連損益	: カスタマーソリューション・環境エネルギー・航空・ロジスティクス・不動産セグメントにおける保有資産に係る売上総利益ベースの売却損益および減損等(時価評価損益を含む)の合算値
■ MHCUK	: Mitsubishi HC Capital UK(欧州のリースおよび金融会社)	■ インカムゲイン	: 「アセット関連損益控除後の売上総利益」+「営業外損益(償却債権取立益を除く)」
■ MHCA	: Mitsubishi HC Capital America(米州のリースおよび金融会社)	■ 純利益	: 親会社株主に帰属する四半期または当期純利益
■ EE	: European Energy(再生可能・次世代エネルギー会社)	■ ROA	: $\frac{\text{純利益}}{(\text{前期末総資産額} + \text{当期末総資産額}) \div 2}$
■ JSA	: Jackson Square Aviation(航空機リース会社)	■ ROE	: $\frac{\text{純利益}}{(\text{前期末自己資本} + \text{当期末自己資本}) \div 2}$
■ elfc	: Engine Lease Finance(航空機エンジンリース会社)	■ セグメント資産残高	: 「営業資産残高」+「持分法投資残高」+「のれん」+「投資有価証券等」
■ CAI	: CAI International(海上コンテナリース会社)		
■ BIL	: Beacon Intermodal Leasing (2023年1月にCAIを存続会社とする合併完了)		
■ PNW	: PNW Railcars(鉄道貨車リース会社)		
■ CPD	: センターポイント・ディベロップメント(2023年4月に完全子会社化)		

純利益

2025/3期3Q
実績

870億円

前年同期比
(増減率)

+64億円
(+8.0%)

業績予想

1,350億円

進捗率

64.5%

コメント

- ✓ 海外地域・環境エネルギーセグメントにおいて貸倒関連費用が増加したものの、期初計画織り込み済みのJSAの決算期変更による増益効果*に加え、**航空・ロジスティクスセグメントが期初計画比で好調に推移**していること等により前年同期比で**64億円の増益**。
- ✓ 航空・ロジスティクスセグメントにおいて**期初計画を上回る業績**を見込んでいることに加え、環境エネルギーセグメントにおけるアセット売却に係る**大口利益の計上等**を見込んでいることから、**業績予想は変更なし**。

* 詳細はP.7に記載

01 | 2025年3月期 第3四半期決算概要

02 | セグメント関連情報

03 | 2025年3月期 業績予想

04 | 参考情報

01 | 2025年3月期 第3四半期決算概要

02 | セグメント関連情報

03 | 2025年3月期 業績予想

04 | 参考情報

(億円)	(a)	(b)	(c)=(b)-(a)	(d)=(c)/(a)	(e)
	2024/3期 第3四半期	2025/3期 第3四半期	前年同期比		
			増減	増減率	増減 (除、為替影響 ^{*1})
1 売上総利益	2,700	3,465	① +764	+28.3%	+590
2 経常利益	1,043	1,400	+357	+34.3%	+269
3 純利益	805	870	② +64	+8.0%	0
4 契約実行高	22,103	25,038	③ +2,935	+13.3%	+1,602

(億円)	2024/3期末	2025/3期 第3四半期末	前期末比		
			増減	増減率	増減 (除、為替影響 ^{*1})
5 セグメント資産残高	101,794	108,770	④ +6,976	+6.9%	+3,500
6 自己資本	16,852	17,888	+1,035	+6.1%	

主な増減要因

① 売上総利益

- ✓ 航空セグメントが好調に推移していることに加え、不動産セグメントにおける大口のアセット売却益やJSAの決算期変更の影響^{*2}(+163億円)等により増益。

② 純利益

- ✓ 海外地域・環境エネルギーセグメントにて貸倒関連費用が増加したものの、売上総利益の増加等により増益。

③ 契約実行高

- ✓ 航空・ロジスティクスセグメントにおける大口実行やJSAの決算期変更の影響^{*2}(+354億円)等により増加。

④ セグメント資産残高

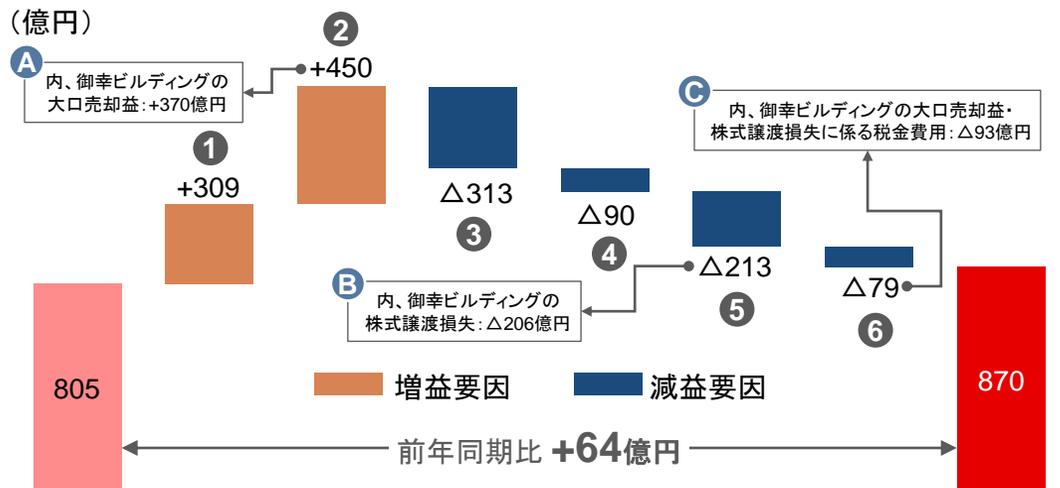
- ✓ 御幸ビルディングや積水リースの連結除外による影響があったものの、航空・ロジスティクスセグメントにおける資産積み上げ、環境エネルギーセグメントでEEの持分法適用関連会社化等により増加。

*1 海外子会社の決算取り込み時に適用する為替換算レートにおける当期と前期との差(適用レートはP.39に記載)

*2 詳細はP.7に記載

純利益の前年同期比 増減要因

純利益の増減



2024/3期 インカム アセット 貸倒関連 経費 特別損益 その他 2025/3期
第3四半期 ゲイン 関連損益 費用 費用 (税金費用等) 第3四半期

(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q
① インカムゲイン	2,644	2,954
② アセット関連損益	64	515
③ 貸倒関連費用	83	396
④ 経費	1,582	1,672
⑤ 特別損益	80	-132
⑥ その他(税金費用等)	317	397
純利益	805	870

(注1) ①～⑤は税引き前ベース、税金費用は⑥に含む
(注2) A B Cに係る増益効果は純利益ベースで約70億円

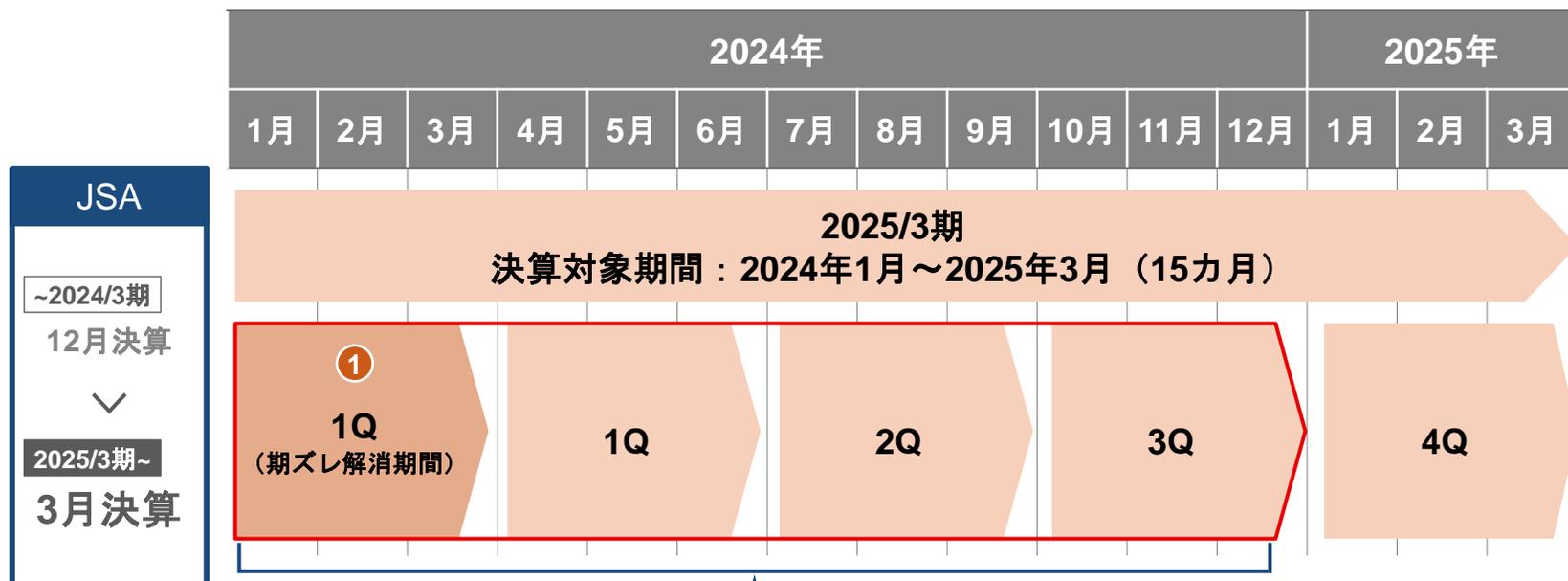
主な増減要因 (+:利益に対してプラス、△:利益に対してマイナス)

- ① インカムゲイン**
 - ✓ 航空 +273億円 リース料収入の増加、JSAの決算期変更による影響
 - ✓ ロジスティクス +51億円 海上コンテナの新規案件積み上げや鉄道貨車の稼働率向上、為替影響等
- ② アセット関連損益**
 - ✓ 不動産 +345億円 **A** 御幸ビルディングの大口売却益(370億円)の計上等
 - ✓ 航空 +116億円 売却機(基)数の増加およびJSAの決算期変更による影響
- ③ 貸倒関連費用**
 - ✓ 海外地域 △158億円 米州運送セクターでの費用の増加等
 - ✓ 環境エネルギー △72億円 国内再エネプロジェクト案件に係る大口費用の計上
 - ✓ 航空 △54億円 前年同期に計上した大口戻入の剥落等
- ④ 経費**
 - ✓ 航空 △57億円 JSAの決算期変更による影響等
 - ✓ 海外地域 △35億円 為替影響等
- ⑤ 特別損益**
 - ✓ 不動産 △249億円 **B** 御幸ビルディングの株式譲渡損失(206億円)の計上等
 - ✓ カスタマーソリューション +16億円 関係会社株式売却益の計上等
 - ✓ 航空 +12億円 MHCが保有する航空機リース案件の持分売却益の計上等
- ⑥ その他(税金費用等)**
 - ✓ 不動産 △66億円 **C** 御幸ビルディングの大口売却益・株式譲渡損失に係る税金費用(93億円)の発生等
 - ✓ 航空 △62億円 利益伸長による税金費用の増加、JSAの決算期変更による影響
 - ✓ 海外地域 +42億円 利益の減少による税金費用の減少

JSAの決算取込期間の調整による影響

- ✓ 2025年3月期より、航空機リース子会社であるJSAの決算期を12月から3月に変更。
- ✓ この変更により、2025年3月期1Qの決算対象期間は2024年1月～6月までの6カ月となった結果、2025年3月期1Qにおいて純利益ベースで94億円（航空セグメント:60億円、調整額:33億円）の増益効果が発生。

決算期変更のイメージ



2025/3期3Qにおいては、
2024年1～12月実績(12カ月)を取り込んでいる。

PL影響

- ① 航空セグメント(対象はJSAのみ)**
JSAの2024年4月～6月実績(3カ月)に加え、期ズレ解消期間の2024年1月～3月実績(3カ月)も取り込んでいる。
- ② 調整額**
JSAの期ズレ解消により、本部勘定において一過性の利益を計上。

(億円)	① 航空 (JSA)	② 調整額	合計
インカムゲイン	+63	+42	+105
アセット関連損益	+56	-	+56
貸倒関連費用	0	-	0
経費	+28	-	+28
特別損益	-	-	-
その他(税金費用等)	+30	+8	+38
セグメント利益	+60	+33	+94

01 | 2025年3月期 第3四半期決算概要

02 | セグメント関連情報

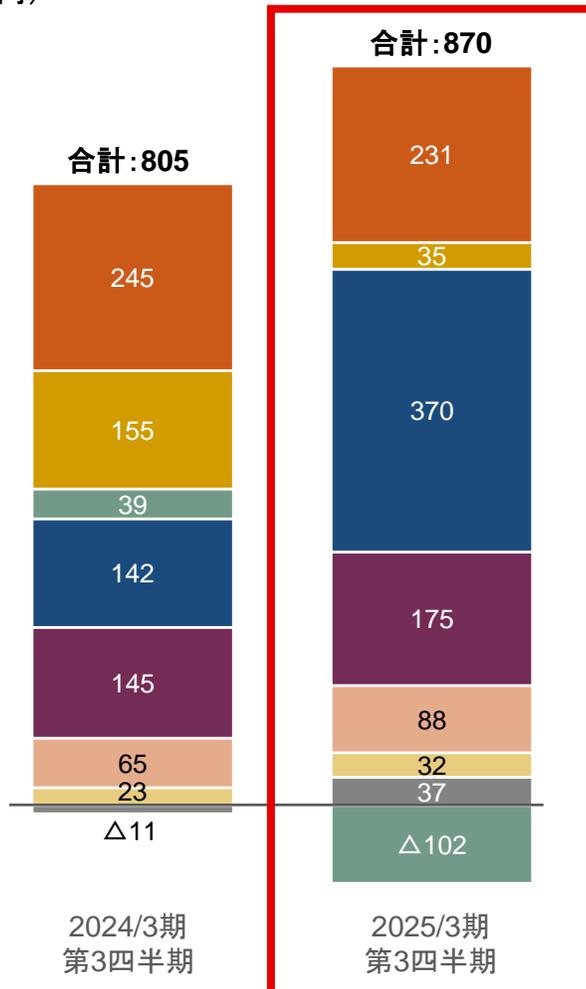
03 | 2025年3月期 業績予想

04 | 参考情報

セグメント利益の前年同期比 増減要因

セグメント利益の増減

(億円)



(億円)	セグメント利益			セグメント利益の主な増減要因
	24/3期 3Q	25/3期 3Q	前年同期比	
顧客ソリューション	245	231	-13	【+】 関係会社株式売却益の計上、アセット売却益の増加等 【-】 首都圏リース、ディー・エフ・エル・リースおよび積水リースを連結除外
海外地域	155	35	-120	【-】 米州運送セクターでの貸倒関連費用の増加
環境エネルギー	39	-102	-142	【-】 国内再エネプロジェクト案件に係る大口の貸倒関連費用の計上等
航空	142	370	+227	【+】 新規案件積上げやエンジンの稼働率向上によるリース料収入の増加、売却機(基)数の増加によるアセット売却益の増加、JSAの決算期変更による影響
ロジスティクス	145	175	+30	【+】 海上コンテナリースおよび鉄道貨車リースのインカムゲインの増加
不動産	65	88	+23	【+】 御幸ビルディングの大口売却・株式譲渡による影響 【-】 前年同期に計上したCPDの完全子会社化にともなう特別利益の剥落
モビリティ	23	32	+8	【+】 持分法投資利益の増加
調整額	-11	37	+49	【+】 JSAの決算期変更による影響等
合計	805	870	+64	

セグメント利益の増減 (+: 利益に対してプラス、△: 利益に対してマイナス)

(億円)



2024/3期 第3四半期 インカムゲイン アセット関連損益 貸倒関連費用 経費 特別損益 その他(税金費用等) 2025/3期 第3四半期

(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比
インカムゲイン	855	799	-55
アセット関連損益	8	16	+8
貸倒関連費用	22	39	+17
経費	501	478	-23
特別損益	18	35	+16
その他(税金費用等)	112	101	-11
セグメント利益	245	231	-13

セグメント資産残高(億円)

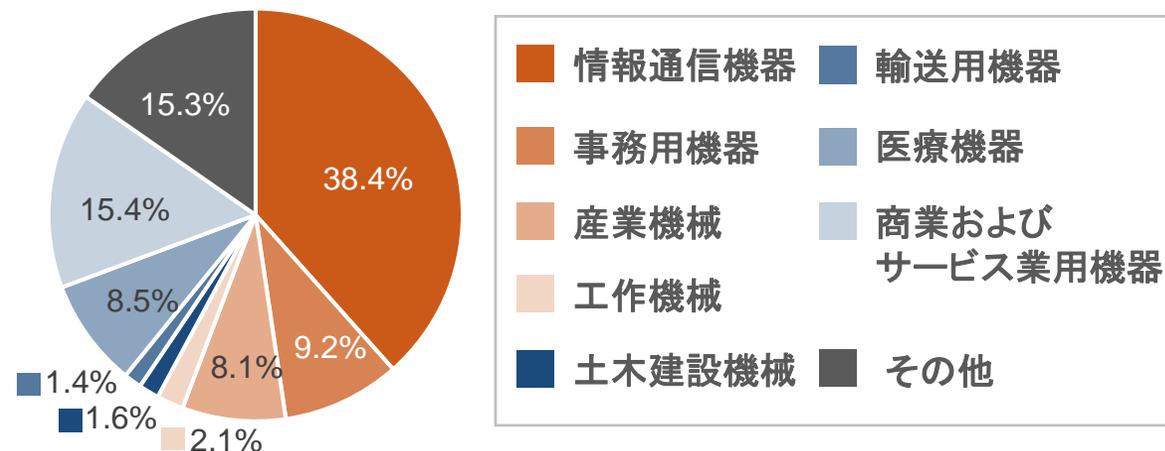
	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
合計	29,665	29,438	-227
リース	24,038	23,973	-65
割賦・貸付	4,034	3,687	-347
その他	1,592	1,778	+185

*1 首都圏リース、ディー・エフ・エル・リース、積水リース

コメント

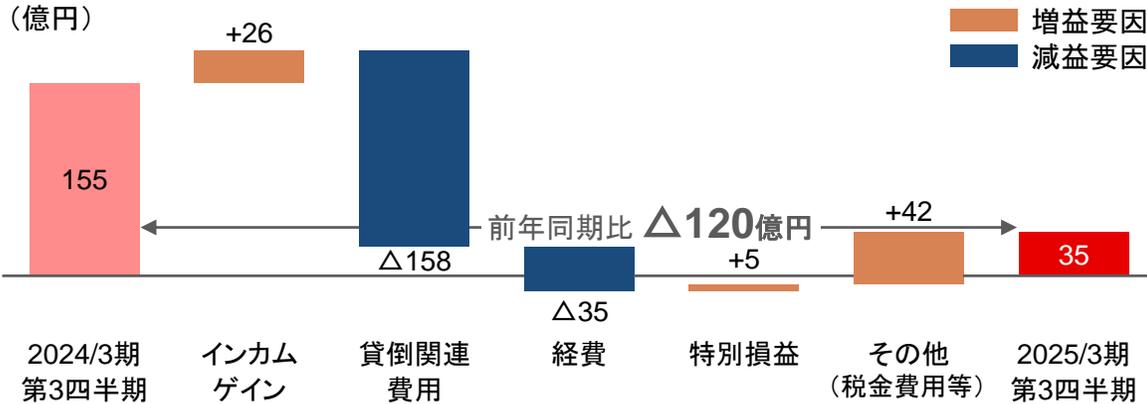
- インカムゲインは、連結子会社3社^{*1}の連結除外(Δ53億円)等により前年同期比減少ながら、連結除外の影響を除くと実質的には前年同期比横ばい。
- アセット関連損益は、不動産リースに係る売却益の増加により前年同期比増加。
- 貸倒関連費用は、個別案件による大口の費用計上等により前年同期比増加。
- 経費は、連結子会社3社の連結除外(Δ29億円)等により前年同期比減少。
- 特別損益は、関係会社株式売却益の計上等により前年同期比増加。
- セグメント資産残高は、積水リースの連結除外(Δ510億円)等により前期末比減少。ただし、連結除外の影響を除くと前期末比増加。

カスタマーソリューションの物件種類別リース取扱高内訳^{*2}(2025/3期3Q)



*2 カスタマーソリューションセグメントに属する営業部店・主要子会社等におけるリース取扱高。なお、主に輸送用機器を取り扱う三菱オートリースはモビリティセグメントに含まれているため対象外

セグメント利益の増減 (+: 利益に対してプラス、△: 利益に対してマイナス)



(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比(増減)	除、為替影響*
インカムゲイン	1,015	1,041	+26	-48
貸倒関連費用	123	281	+158	+140
経費	669	705	+35	-12
特別損益	-3	1	+5	+5
その他(税金費用等)	63	21	-42	-44
セグメント利益	155	35	-120	-125

セグメント資産残高(億円)

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比(増減)	除、為替影響*
合計	30,708	31,925	+1,217	-154
欧州(MHCUK)	16,217	17,509	+1,291	+605
米州(MHCA)	10,867	11,011	+144	-326
中国	1,153	784	-369	-422
ASEAN	2,416	2,620	+204	+42
その他	53	-	-53	-53

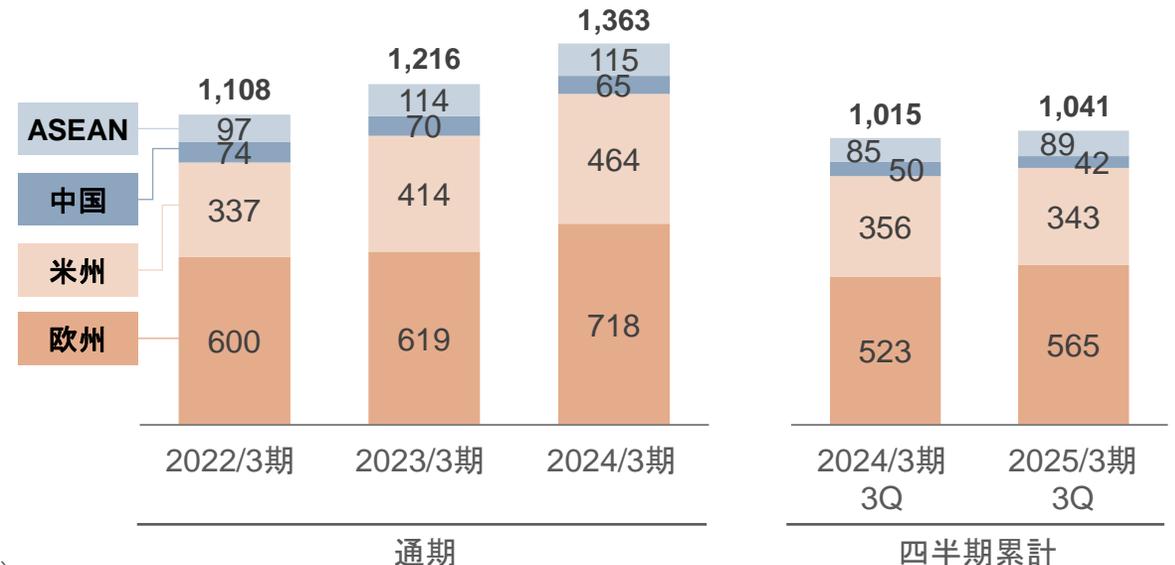
(注) 海外地域セグメントの実績であり、航空・ロジスティクス等の他セグメントに属する海外の実績は含まない

* 決算取り込み時に適用する為替換算レートにおける当期と前期との差による影響(適用レートはP.39に記載)

コメント

- インカムゲインは、前年同期の米州子会社再編にともなう決算取込期間の調整による増益効果(+31億円)の剥落等があったものの、為替影響により前年同期比増加。
- 貸倒関連費用は、米州運送セクターの市況低迷(詳細はP.13に記載)を主に前年同期比増加。
- 経費は、為替影響等により前年同期比増加。
- その他(税金費用等)は、税金費用の減少等により前年同期比減少。

インカムゲインの推移(億円)



主要計数(億円)									
	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	前年同期比 (増減)	除、為替影響*		2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	前年同期比 (増減)	除、為替影響*
合計					中国				
インカムゲイン	1,015	1,041	+26	-48	インカムゲイン	50	42	-7	-10
貸倒関連費用	123	281	+158	+140	貸倒関連費用	13	8	-5	-5
経費	669	705	+35	-12	経費	36	32	-4	-6
経常利益	222	55	-167	-175	経常利益	0	1	+2	+1
セグメント利益	155	35	-120	-125	セグメント利益	-7	0	+7	+7
欧州(MHCUK)					ASEAN				
インカムゲイン	523	565	+42	-3	インカムゲイン	85	89	+3	-1
貸倒関連費用	38	49	+10	+6	貸倒関連費用	-6	11	+17	+17
経費	331	368	+37	+8	経費	63	67	+4	+1
経常利益	153	147	-5	-18	経常利益	28	10	-18	-19
セグメント利益	115	103	-11	-20	セグメント利益	22	10	-12	-13
米州(MHCA)					その他				
インカムゲイン	356	343	-12	-33	インカムゲイン	0	-	0	0
貸倒関連費用	77	212	+135	+122	貸倒関連費用	0	-	0	0
経費	235	236	+1	-12	経費	3	-	-3	-3
経常利益	44	-105	-149	-142	経常利益	-3	-	+3	+3
セグメント利益	29	-78	-107	-102	セグメント利益	-3	-	+3	+3

(注) 海外地域セグメントの実績であり、航空・ロジスティクス等の他セグメントに属する海外の実績は含まない
 * 決算取り込み時に適用する為替換算レートにおける当期と前期との差による影響(適用レートはP.39に記載)

米州運送セクターの市況について

背景

- ✓ 2023/3期3Q以降、米州主力ビジネスである商用トラックの販売・在庫金融事業において**貸倒関連費用が継続的に発生**。
- ✓ コロナ禍後の2022年以降、**米州運送市場の需給バランス悪化や金利高等**により、運送業者の資金繰りが悪化した結果、**支払い遅延の増加による延滞率の上昇、中古トラック価格の下落**が主因。

現状

- ✓ 米州運送市場において**需給バランスの改善時期が後ずれ**。
- ✓ 顧客である運送業者の収支があまり改善していないことから、**貸倒関連費用は依然として高止まり**。

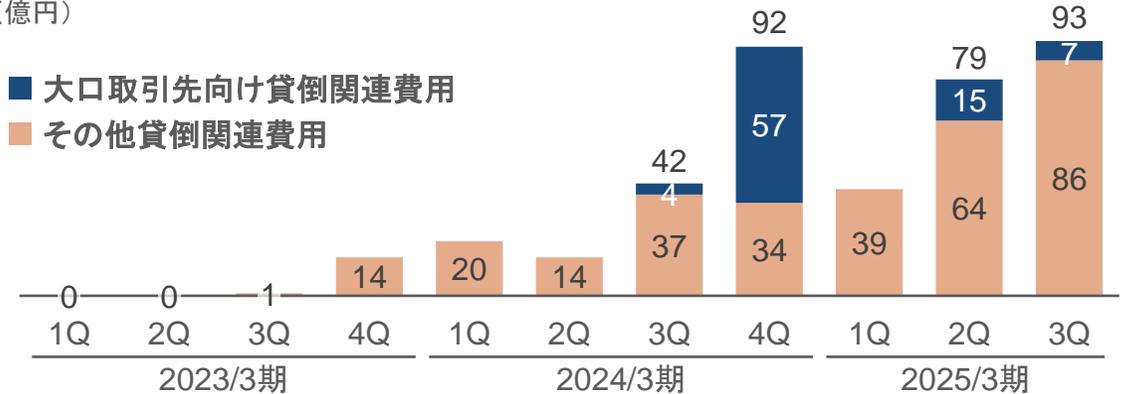
打ち手・見通し

- ✓ 当社では、審査モデルの見直し、期中管理プロセス強化、引き揚げ担保資産の売却能力向上等、**新たな貸倒関連費用の発生を抑制するための諸施策を引き続き推進**するとともに、商用トラックの資産構成割合を引き下げることを中心に**ポートフォリオ分散によるボラティリティの低減やリスク・リターン**の改善を推進中。
- ✓ 調査会社の最新レポートでは、大型トラックのスポットレートが**6カ月連続で前年同期比プラスで推移**し、米国の市況は徐々に回復に向かっているものの、**回復スピードがこれまでの想定よりも鈍化**すると予測されており、当社の貸倒関連費用は来年度以降に減少する見込み。

米州における四半期別の貸倒関連費用の推移

(億円)

■ 大口取引先向け貸倒関連費用
■ その他貸倒関連費用



米国における大型トラックのスポットレート^{*1*}の推移

(US\$ per mile, net fuel)



実績

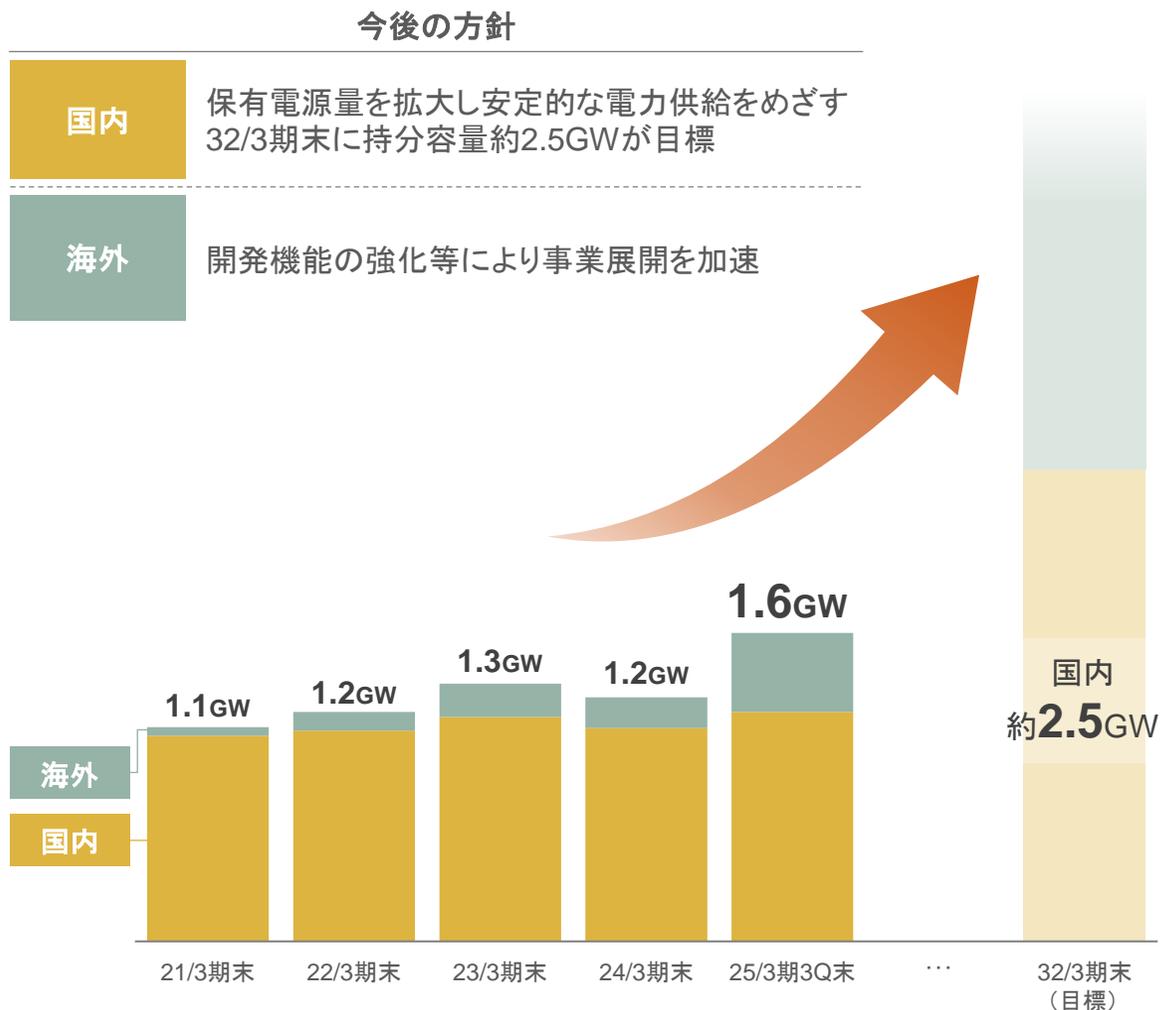
予想

*1 運送業者の収入源である運賃

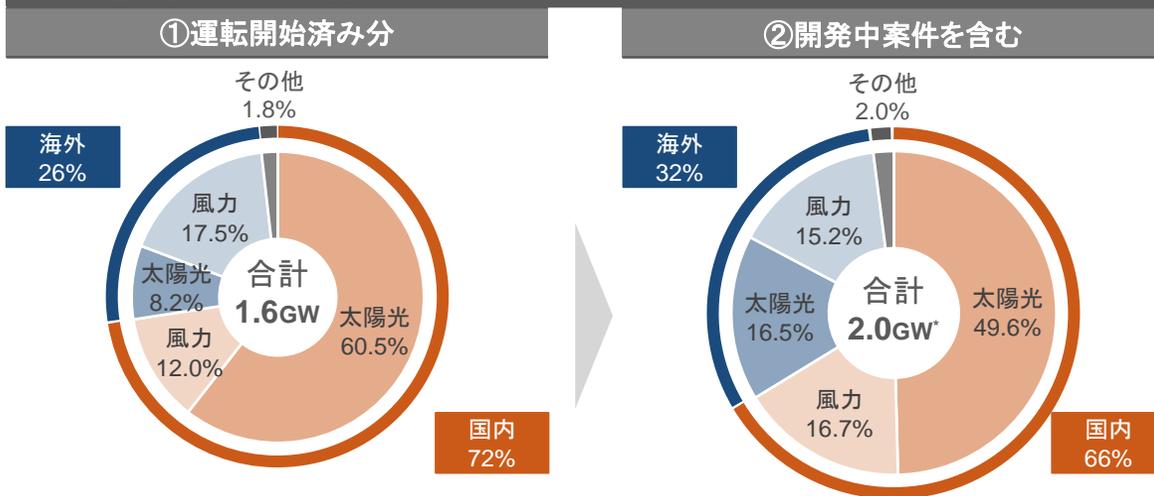
*2 (出所)ACT Research社「Freight Forecast: Rate and Volume Outlook (January 14, 2025)」をもとにMHC作成

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
合計	1,293	1,633	+339
太陽光	920	1,122	+201
国内	904	989	+85
海外	16	133	+116
風力	343	481	+138
国内	196	196	-
海外	147	285	+138
その他	29	29	-

再エネ電力事業における持分容量の推移

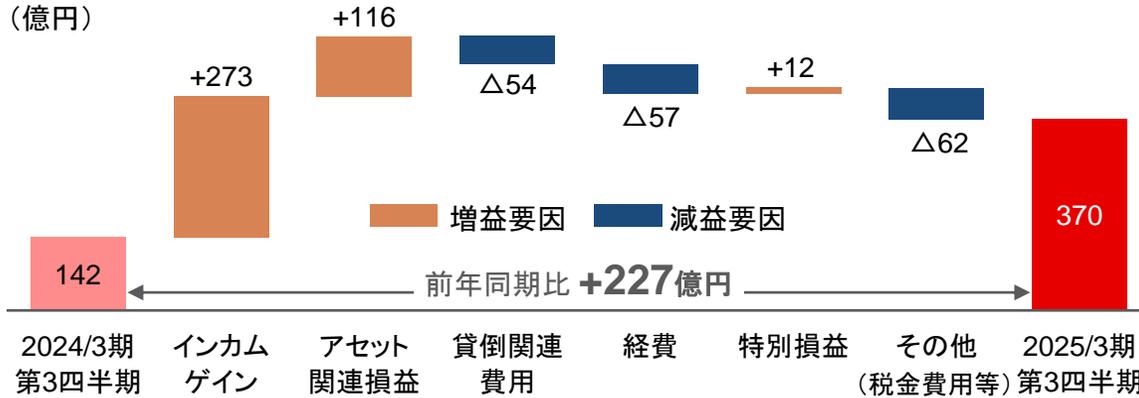


再エネ電力事業における持分容量内訳 (2025/3期3Q末)



* 2025/3期3Q末時点で獲得済み未実行案件のみ反映した見通し
(2025/3期3Q以降の新規受注案件は考慮せず)

セグメント利益の増減 (+: 利益に対してプラス、△: 利益に対してマイナス)



(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比
インカムゲイン	264	537	+273
アセット関連損益	6	123	+116
貸倒関連費用	-64	-9	+54
経費	136	194	+57
特別損益	11	23	+12
その他(税金費用等)	67	129	+62
セグメント利益	142	370	+227

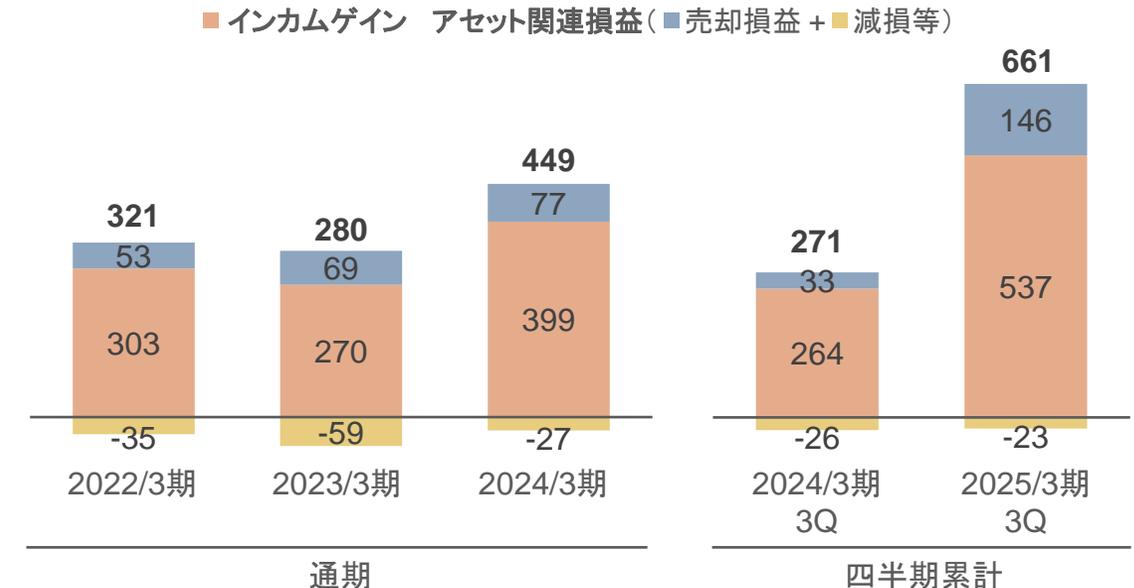
セグメント資産残高(億円)

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
合計	20,200	24,296	+4,096
航空機リース(JSA)	14,285	17,612	+3,327
エンジンリース(elfc)	5,273	6,189	+916
航空機リース等(MHC)	641	494	-147

コメント

- インカムゲインは、新規案件積上げやエンジンの稼働率向上によるリース料収入の増加、JSAの決算期変更による影響等により前年同期比増加。
- アセット関連損益は、航空機およびエンジンの売却機(基)数の増加およびJSAの決算期変更による影響等により前年同期比増加。
- 貸倒関連費用は、前年同期に計上した大口戻入の剥落等により前年同期比増加。
- 経費は、JSAの決算期変更による影響等により前年同期比増加。
- その他(税金費用等)は、利益伸長による税金費用の増加、JSAの決算期変更による影響等により前年同期比増加。

インカムゲイン・アセット関連損益の推移(億円)

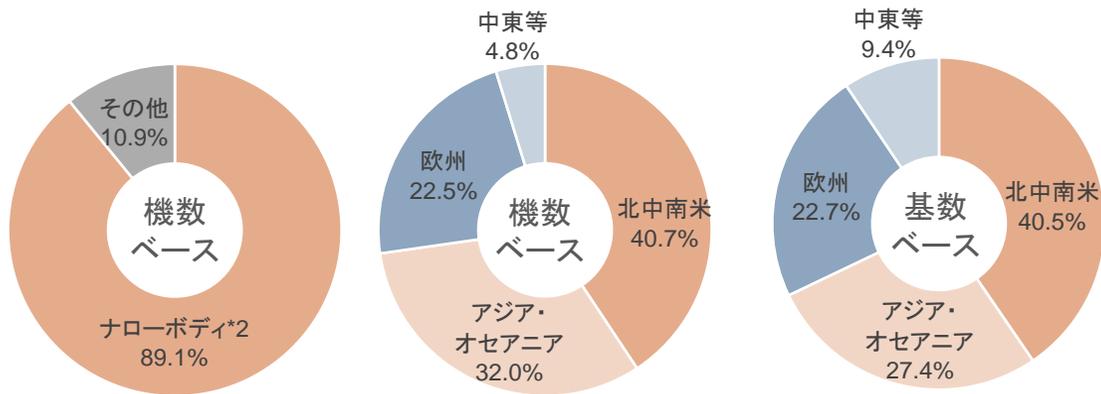


航空関連資産の保有状況			
	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
航空機数(JSA)	220機	239機	+19機
購入機数	32機	33機	-
売却機数	11機	14機	-
平均機齢(JSA)	5.0年	5.3年	+0.3年
平均残リース期間(JSA)	7.2年	7.0年	-0.2年
エンジン基数(elfc)*1	390基	399基	+9基

航空関連の保有資産内訳(2025/3期3Q末)

①航空機アセットタイプ別・地域別

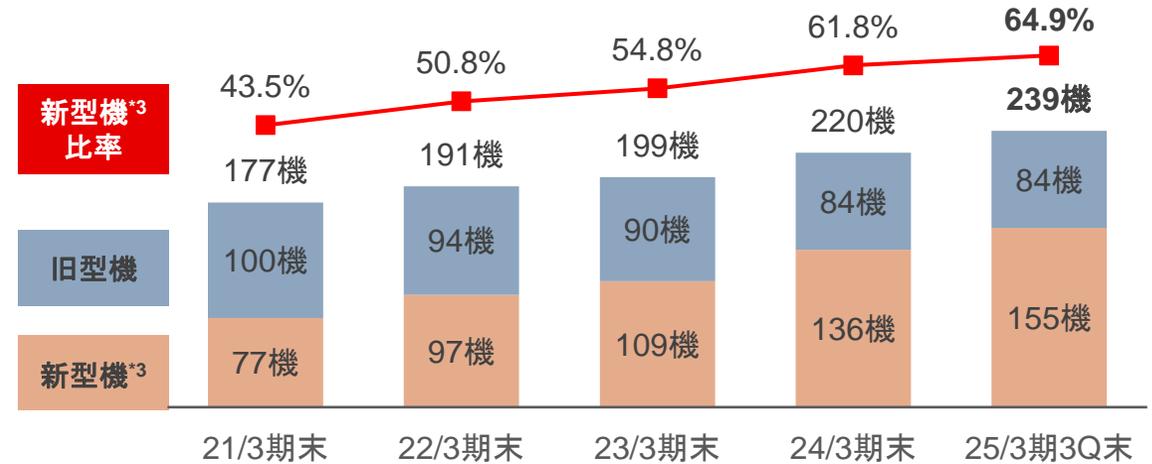
②航空機エンジン地域別



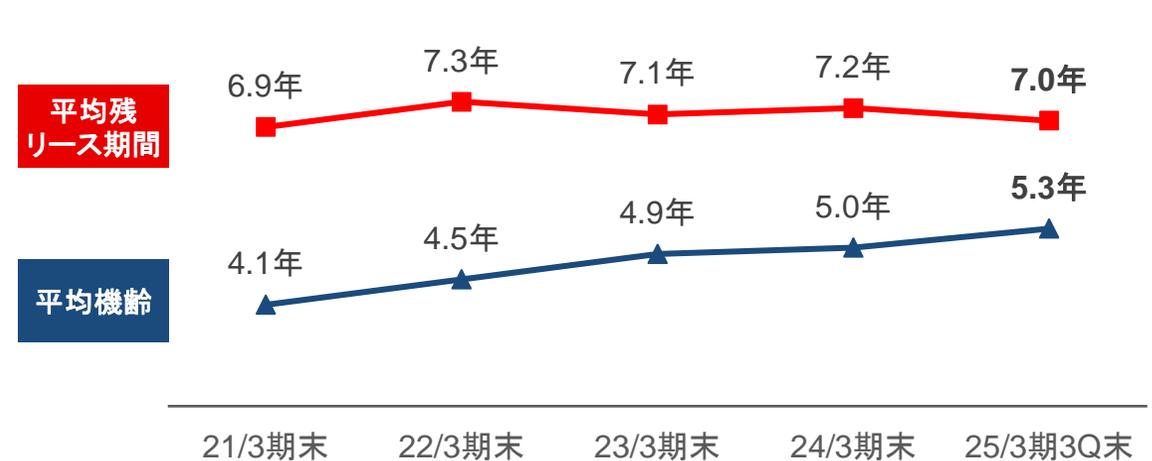
*1 エンジンパーツアウト会社INAVへの委託販売分を控除

*2 主に近距離線で使用する単通路機(A320シリーズ、B737シリーズ等)

航空機の保有機数の推移



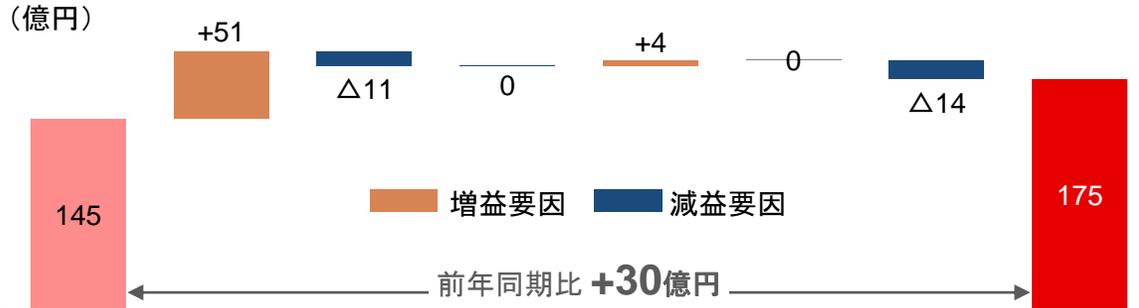
航空機の各種計数の推移



*3 旧型機に比して燃費効率が良く、CO₂排出量の少ない機体

対象機体:A220 / A320NEO / A321NEO / A330NEO / A350 / B737MAX / B787

セグメント利益の増減 (+: 利益に対してプラス、△: 利益に対してマイナス)



2024/3期 第3四半期 インカムゲイン アセット関連損益 貸倒関連費用 経費 特別損益 その他(税金費用等) 2025/3期 第3四半期

(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比
インカムゲイン	229	281	+51
アセット関連損益	51	40	-11
貸倒関連費用	0	0	0
経費	94	89	-4
特別損益	-	-	-
その他(税金費用等)	41	55	+14
セグメント利益	145	175	+30

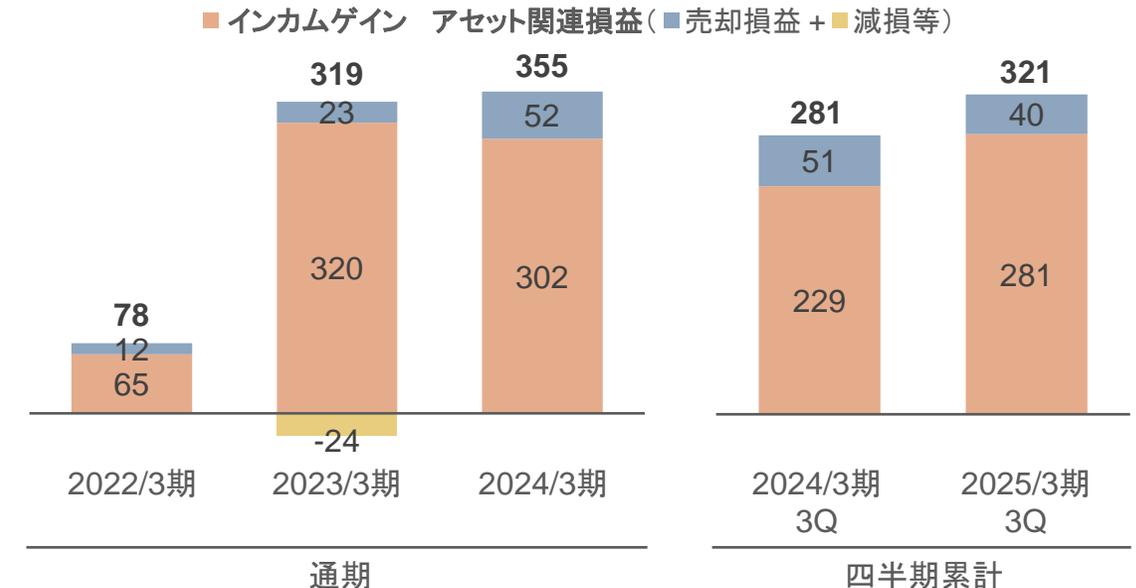
セグメント資産残高(億円)

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
合計	10,990	12,027	+1,036
海上コンテナ(CAI)	7,826	8,745	+918
鉄道貨車(PNW)	2,906	3,114	+208
船舶	257	166	-90

コメント

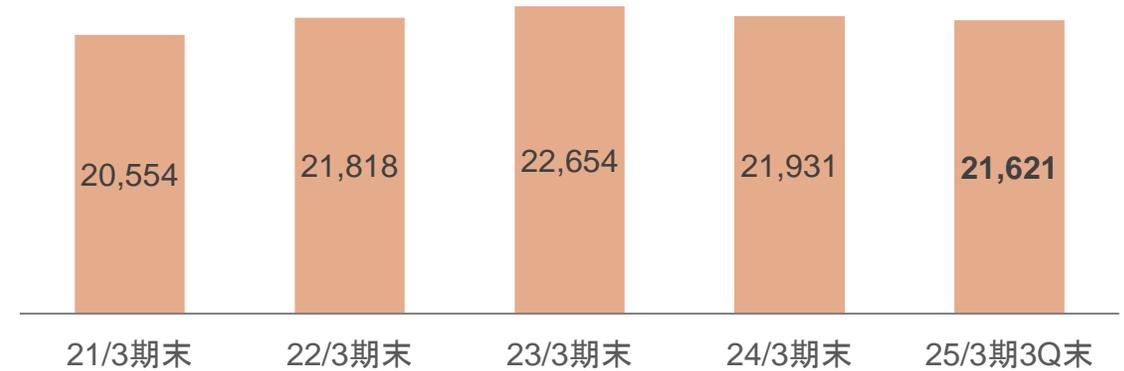
- インカムゲインは、海上コンテナの新規案件積み上げや鉄道貨車の稼働率向上、為替影響等により前年同期比増加。
- アセット関連損益は、鉄道貨車および海上コンテナの売却益が増加したものの、船舶の売却益が減少したことにより前年同期比減少。
- セグメント資産残高は、アセットの売却があったものの、海上コンテナや鉄道貨車における新規実行の増加等により前期末比増加。
- 鉄道貨車はインカムゲインの改善、資産回転型モデルへの移行が順調に進んでいることから、計画比1年前倒しでの黒字化を達成。

インカムゲイン・アセット関連損益の推移(億円)

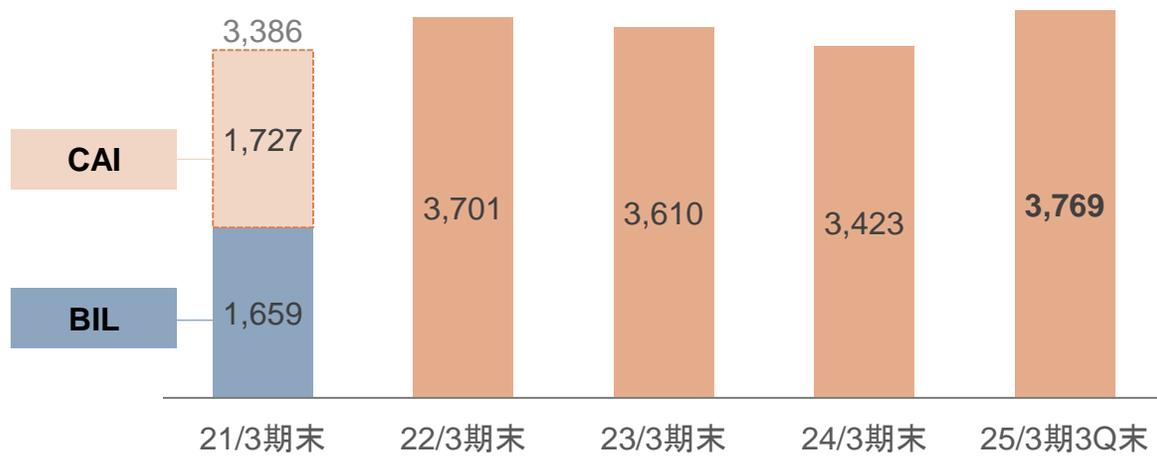


ロジスティクス関連資産の保有状況			
	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
海上コンテナフリート数 (千TEU*1)	3,246	3,665	+419
海上コンテナフリート数 (千CEU*2)	3,423	3,769	+346
鉄道貨車車両台数(両)	21,931	21,621	-310

鉄道貨車車両台数(両)の推移

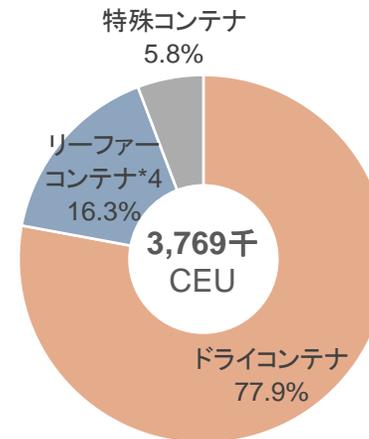


海上コンテナフリート数(千CEU)の推移*3

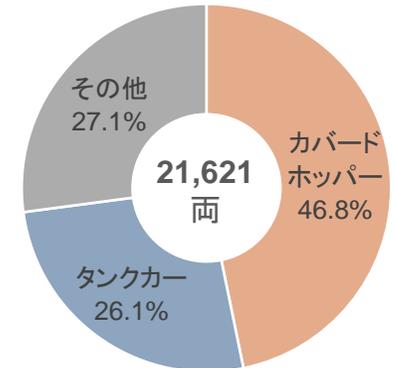


ロジスティクス関連の保有資産内訳(2025/3期3Q末)

①海上コンテナのアセットタイプ別



②鉄道貨車のアセットタイプ別



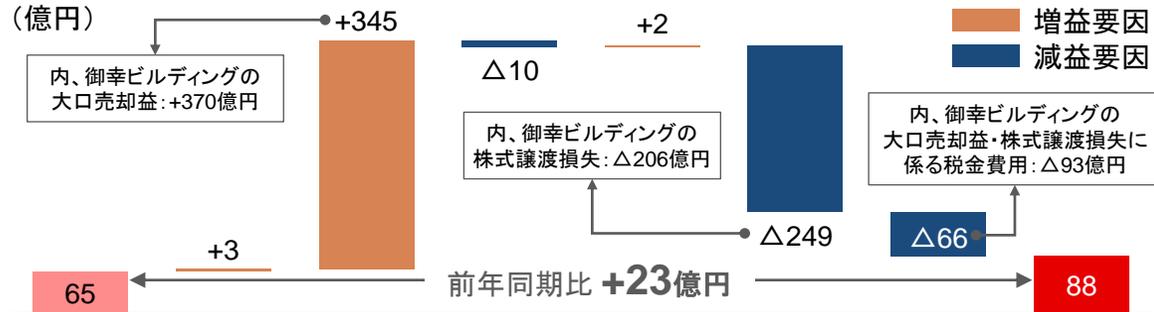
*1 TEU: Twenty Foot Equivalent Unitの略(20フィートドライコンテナ換算の容量単位)

*2 CEU: Cost Equivalent Unitの略(コンテナ数量のコスト換算単位。20フィートドライコンテナを1CEUとし、同コンテナ価格を基準に各種コンテナ価格を相対比較して数量を算出)

*3 CAIの21/3期末は買収前につき参考値

*4 冷凍・冷蔵用のコンテナ

セグメント利益の増減 (+: 利益に対してプラス、△: 利益に対してマイナス)



2024/3期 第3四半期 インカムゲイン アセット関連損益 貸倒関連費用 経費 特別損益 その他(税金費用等) 2025/3期 第3四半期

(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比
インカムゲイン	92	95	+3
アセット関連損益	30	375	+345
貸倒関連費用	1	12	+10
経費	49	47	-2
特別損益	48	-201	-249
その他(税金費用等)	55	121	+66
セグメント利益	65	88	+23

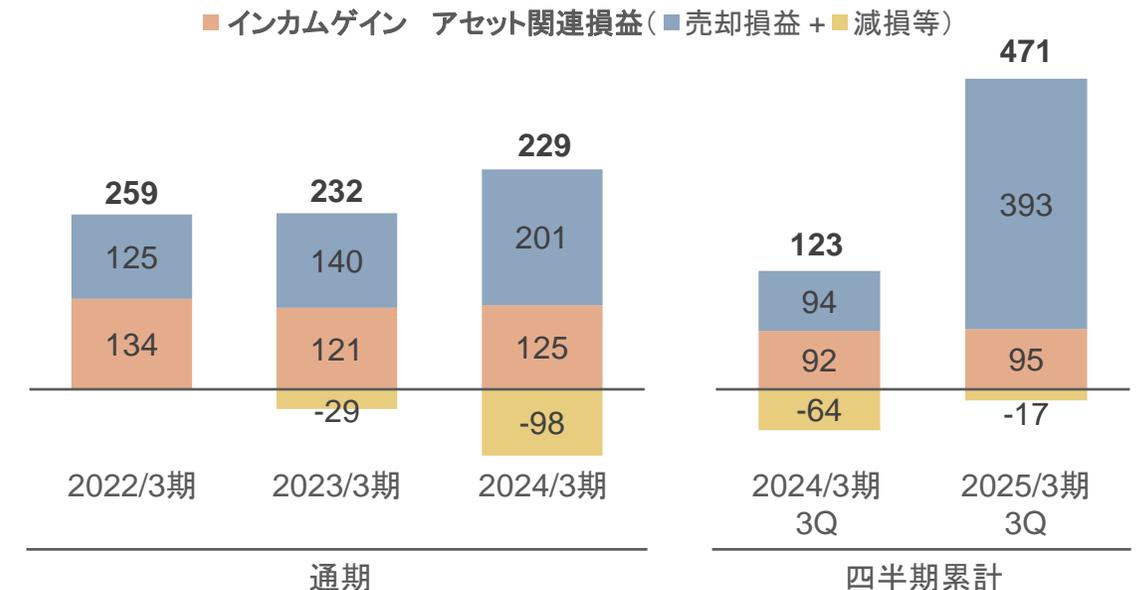
セグメント資産残高(億円)

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
合計	5,254	5,319	+65
国内	4,622	4,780	+157
ファイナンス事業	1,777	1,979	+201
投資事業	2,093	2,801	+708
賃貸事業	751	-	-751
海外(ファイナンス事業のみ)	481	394	-86
のれん等	150	144	-5

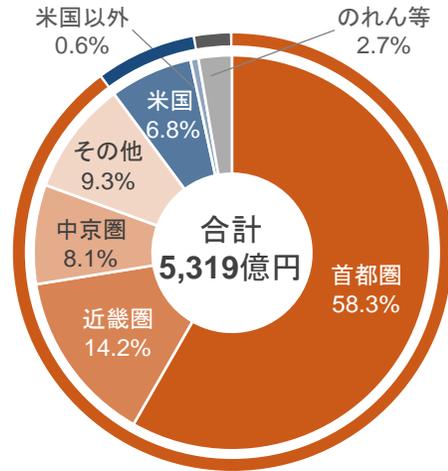
コメント

- アセット関連損益は、前年同期に計上した大口売却益の剥落があったものの、御幸ビルディングの大口売却益(+370億円)の計上、米国不動産の時価評価損減少等により前年同期比増加。
- 特別損益は、御幸ビルディングの株式譲渡損失(△206億円)の計上、前年同期に計上したCPDの完全子会社化にともなう特別利益の剥落により前年同期比減少。
- セグメント資産残高は、御幸ビルディングの株式譲渡による連結除外影響(△755億円)があったものの、投資事業等における複数の新規実行により前期末比増加。

インカムゲイン・アセット関連損益の推移(億円)

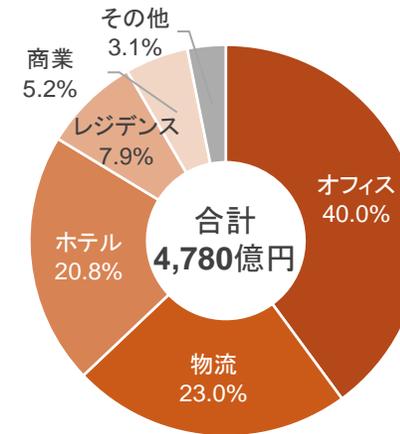


不動産の地域別セグメント資産残高内訳(2025/3期3Q末)

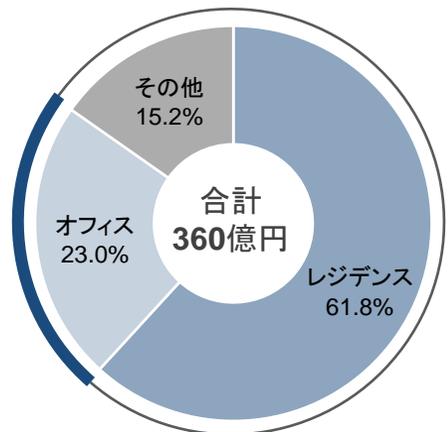


国内	4,780億円 (90%)
海外	394億円 (7%)
のれん等	144億円 (3%)
合計	5,319億円 (100%)

国内のアセットタイプ別セグメント資産残高内訳(2025/3期3Q末)



米国のアセットタイプ別セグメント資産残高内訳(2025/3期3Q末)



オフィス	83億円 (23%)
レジデンス その他	277億円 (77%)
合計	360億円 (100%)

米国不動産事業の概要

事業内容

✓ メザニンローン、エクイティを中心としたファイナンス事業

資産構成

- ✓ 米国不動産事業のセグメント資産残高は360億円。
- ✓ その内、米国において市況の悪化がみられる「オフィス」の資産残高は83億円、不動産セグメントの資産残高に占める割合は1.6%、当社全体のセグメント資産残高に占める割合は0.1%。

セグメント利益の増減 (+: 利益に対してプラス、△: 利益に対してマイナス)

(億円)



	2024/3期 第3四半期	インカムゲイン	貸倒関連費用	経費	特別損益	その他(税金費用等)	2025/3期 第3四半期
--	---------------	---------	--------	----	------	------------	---------------

(億円)	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比
インカムゲイン	37	48	+10
貸倒関連費用	0	0	0
経費	15	18	+2
特別損益	-	-	-
その他(税金費用等)	-1	-2	0
セグメント利益	23	32	+8

セグメント資産残高(億円)

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
合計	519	561	+41

コメント

- インカムゲインは、持分法適用関連会社である三菱オートリースの業績が堅調に推移し、持分法投資利益が増加したことにより前年同期比増加。

車両管理台数(千台)

	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比
モビリティセグメント*1	353	353	0
【参考】当社Gr.合算*2	638	644	+5

*1 持分法適用関連会社の車両管理台数を含む

*2 モビリティ以外のセグメントに属する車両管理台数も含めた合算値(参考値)

01 | 2025年3月期 第3四半期決算概要

02 | セグメント関連情報

03 | 2025年3月期 業績予想

04 | 参考情報

- ✓ 環境エネルギーセグメントにおける期初計画外の大口貸倒関連費用や減損損失の計上、海外地域セグメントにおける米州運送セクターの市況回復の遅れを背景として、期初計画を上回る水準で貸倒関連費用が推移していることなどにより、2025年3月期 第3四半期の純利益は通期業績予想(純利益1,350億円)に対して64.5%の進捗。
- ✓ 航空・ロジスティクスセグメントにおいて期初計画を上回る業績を見込んでいることに加え、環境エネルギーセグメントにおけるアセット売却に係る大口利益の計上等を見込んでいることから、業績予想は変更なし。

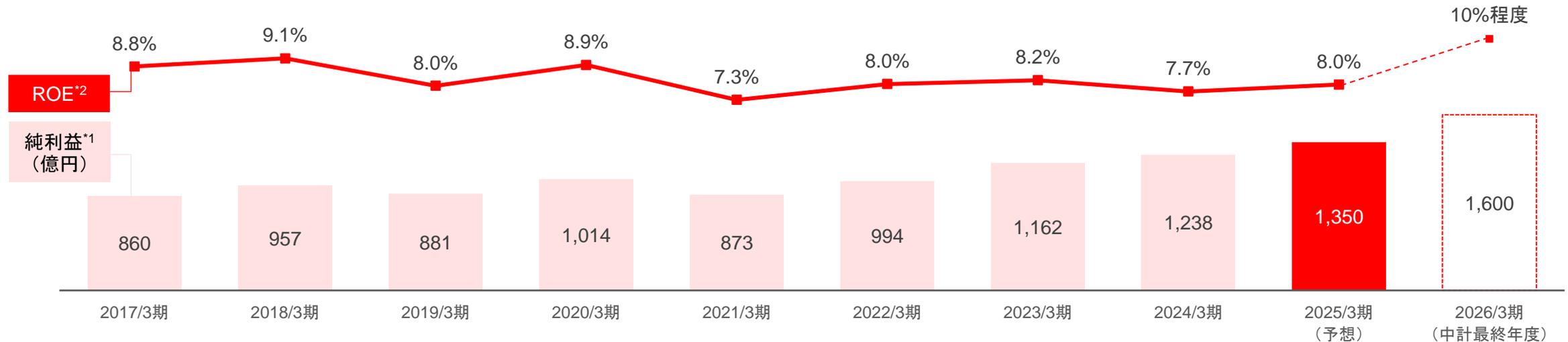
		2024/3期	2025/3期*	増減(増減率)
1	純利益	1,238億円	1,350億円	+111億円 (+9.0%)
2	ROA	1.1%	1.2%	+0.1pt
3	ROE	7.7%	8.0%	+0.3pt
4	1株当たり年間配当金 【配当性向】	37円 【42.9%】	40円 【42.5%】	+3円 【-0.4pt】

* 想定為替レートは\$1=140円、£1=170円

主要計数の推移

- ✓ 2023年5月、2024年3月期からの3年間を対象期間とする中期経営計画(2025中計)を策定・公表。
- ✓ 2025中計の最終年度(2026年3月期)の財務目標は、純利益:1,600億円、ROA:1.5%程度、ROE:10%程度。

純利益*1およびROE*2の推移



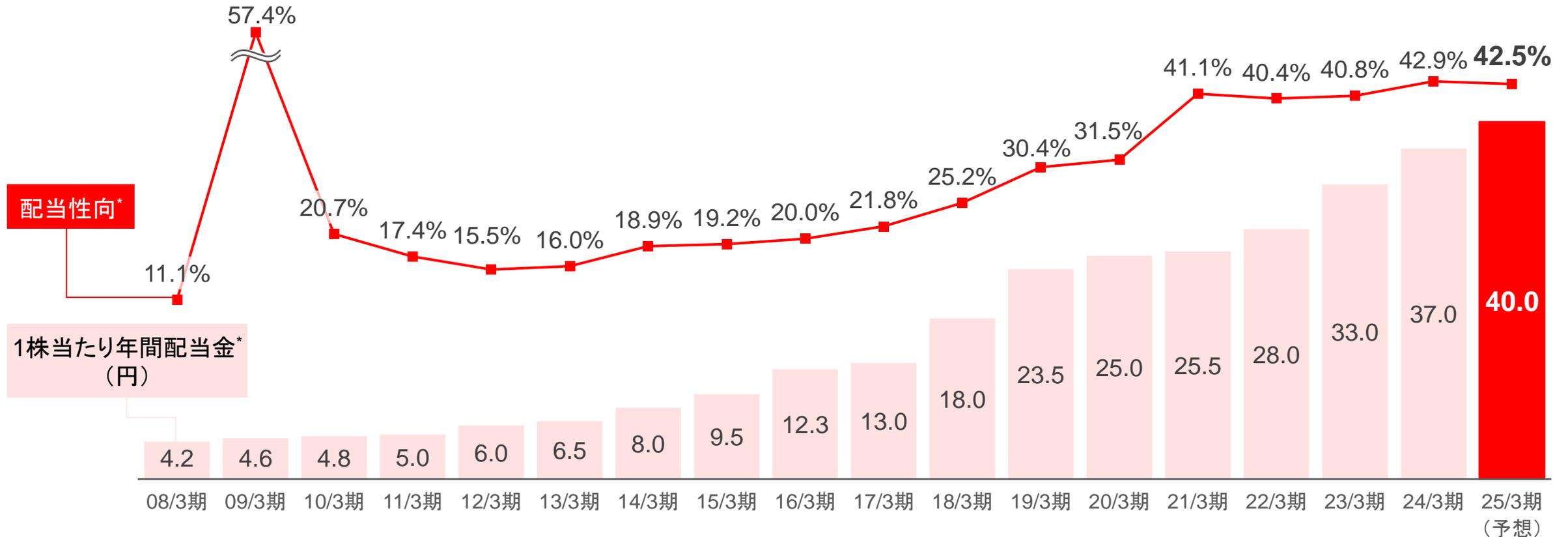
	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期 (予想)	前期比 (増減)	2026/3期 (中計最終年度)
1 純利益*1	860億円	957億円	881億円	1,014億円	873億円	994億円	1,162億円	1,238億円	1,350億円	+111億円	1,600億円
2 ROA*2	1.0%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%	1.0%	1.1%	1.1%	1.2%	+0.1pt	1.5%程度
3 ROE*2	8.8%	9.1%	8.0%	8.9%	7.3%	8.0%	8.2%	7.7%	8.0%	+0.3pt	10%程度
4 1株当たり年間配当金*2	13.0円	18.0円	23.5円	25.0円	25.5円	28.0円	33.0円	37.0円	40.0円	+3.0円	-
5 配当性向*2	21.8%	25.2%	30.4%	31.5%	41.1%	40.4%	40.8%	42.9%	42.5%	-0.4pt	40%以上

*1 2017/3期から2021/3期については、三菱UFJリース(日本基準の親会社株主に帰属する当期純利益)と日立キャピタル(IFRSの親会社の所有者に帰属する当期利益)の単純合算値

*2 2017/3期から2021/3期については三菱UFJリース実績

- ✓ 株主還元は配当によって行うことを基本に、利益成長を通じて配当総額を高めていく。
2025中計期間中の配当性向は40%以上。
- ✓ 2025年3月期の1株当たり年間配当金予想は前期比3円増配の40円（中間:20円、期末:20円）。

配当推移



* 2008/3期から2021/3期については三菱UFJリース実績

01 | 2025年3月期 第3四半期決算概要

02 | セグメント関連情報

03 | 2025年3月期 業績予想

04 | 参考情報

2025年3月期3Qにおける主な事業上のトピックス

■:ビジネスモデルの進化・積層化 ■:変革を促す仕組み ■:組織横断での重要テーマ

2024年10月

- ✓ 企業や自治体における暑熱対策や省エネなどの課題解決に向け、新たな脱炭素ソリューションの開発をめざすべく、SPACECOOLへの出資および業務提携契約の締結を発表。📷¹
- ✓ 新ビジネスの開発加速を図る取り組みの一つである「Zero-Gravity Venture Lab」において、社内起業の機会を提供する「ファウンダープログラム」の第2期最終審査通過案件を決定。📷²
- ✓ 神戸新聞社と、神戸エリアの大学・高等専門学校の学内にデジタルサイネージを設置し、兵庫県内の企業を中心としたPRや認知度向上コンテンツなどを配信する実証実験を開始。

2024年11月

- ✓ 日立製作所ならびにハピネスプラネットとともに、新たな福利厚生サービスの創出に向けた協創を開始。
- ✓ 国内最大級の新事業創出アイデアソン「CLAP WakBiz」を開催。上場企業を中心に55社の新事業開発担当者と当社社員が参加。📷³

2024年12月

- ✓ フレキシブル太陽電池を活用した脱炭素ソリューションの開発を推進すべく、PXPとの資本業務提携契約の締結を発表。
- ✓ 当社ならびにグループ会社である三菱オートリースが、中古EVリースの普及ならびにEVバッテリーの国内循環型モデルの構築を図るべく、オークネットとの間で、航続距離保証付き中古EVリースサービスの構築に向けた基本合意書を締結。
- ✓ フルタイムシステム、その子会社のフルタイムロッカーならびに日本郵便とともに、サーキュラーエコノミーの実現および再配達削減を目的とした協業を開始。



📷¹ SPACECOOLが開発・販売する放射冷却素材



📷² 「Zero-Gravity Venture Lab」最終審査の様子



📷³ アイデアソン「CLAP WakBiz」の様子

海上コンテナへの大型投資を実行

- ✓ 2025年3月期において、地政学的な要因による海上コンテナ需要を的確に捉え、2023年・2024年3月期の投資規模(300~400億円程度)を大きく上回る約2,000億円の新規投資を実行済み。
- ✓ 2025年3月期末時点の当社海上コンテナリース事業のアセットは1兆円に迫る水準となる見込み。

背景

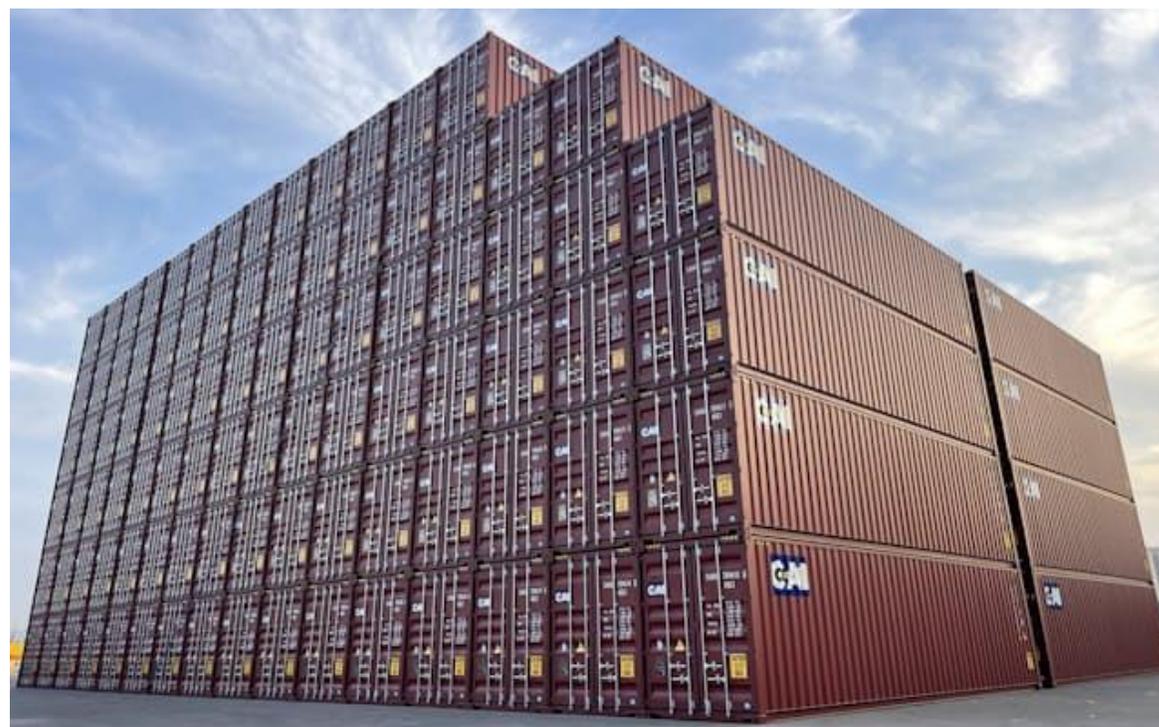
- ✓ 中東情勢緊張による輸送日数の長期化
- ✓ 世界の海上貿易量の堅調な推移
- ✓ アメリカ東海岸等での港湾ストライキ懸念による前倒し需要

投資概要

- ✓ 投資額:約2,000億円(業界内で2024年最大規模)
- ✓ 発注数:約70万TEU(保有数の約2割)
- ✓ 内訳:ドライコンテナ約90%、リーファーコンテナ等約10%

今後の展望

- ✓ 2026年3月期も1,000億円規模の発注を計画
- ✓ 市況を見極め、機動的かつ弾力的に投資予定
- ✓ 戦略的な投資が奏功し、さらに安定的な収益基盤への成長を見込む



▲ 投資実行した海上コンテナ

セグメント別利益①(四半期別)

！ 従前掲載していた「ベース利益」および「営業外損益」は「決算データシート(Excel形式)」に掲載しています。

(億円)			2024/3期					2025/3期				
			1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	前四半期比	前年同期比
1	カスタマーソリューション	インカムゲイン	282	279	293	293	1,148	270	260	267	+6	-26
2		アセット関連損益	1	0	6	16	24	7	2	6	+3	0
3		経常利益	113	97	128	156	495	117	73	107	+34	-20
4		セグメント利益	82	70	93	136	381	103	52	75	+23	-17
5	海外地域	インカムゲイン	340	329	345	347	1,363	342	346	352	+5	+6
6		アセット関連損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		経常利益	70	83	68	21	243	45	10	-1	-11	-69
8		セグメント利益	40	61	53	10	166	32	7	-4	-11	-57
9	環境エネルギー	インカムゲイン	29	43	34	27	134	8	5	11	+5	-23
10		アセット関連損益	0	-32	-	47	15	0	-40	0	+40	0
11		経常利益	6	-6	20	33	53	-12	-139	4	+144	-15
12		セグメント利益	26	0	13	33	73	3	-98	-7	+91	-20
13	航空	インカムゲイン	64	71	128	134	399	207	158	170	+11	+42
14		アセット関連損益	10	2	-6	43	49	77	19	26	+6	+32
15		経常利益	28	76	92	124	323	209	114	151	+37	+59
16		セグメント利益	23	49	69	130	273	159	94	117	+23	+47

セグメント別利益②(四半期別)

！ 従前掲載していた「ベース利益」および「営業外損益」は「決算データシート(Excel形式)」に掲載しています。

(億円)			2024/3期					2025/3期				
			1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	前四半期比	前年同期比
17	ロジスティクス	インカムゲイン	76	75	78	73	302	89	94	97	+3	+19
18		アセット関連損益	19	15	15	1	52	20	13	5	-7	-9
19		経常利益	66	59	60	42	229	76	77	77	0	+16
20		セグメント利益	54	44	46	33	178	56	60	59	-1	+13
21	不動産	インカムゲイン	32	31	28	33	125	32	33	29	-3	+1
22		アセット関連損益	67	-28	-8	72	103	0	375	0	-375	+8
23		経常利益	85	-16	2	87	159	15	382	14	-367	+11
24		セグメント利益	117	-48	-3	54	119	1	81	5	-76	+9
25	モビリティ	インカムゲイン	13	11	12	10	47	17	13	17	+3	+4
26		アセット関連損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27		経常利益	8	6	6	2	23	10	7	11	+3	+5
28		セグメント利益	8	7	7	4	27	11	8	12	+3	+4
29	合計*	インカムゲイン	856	849	938	944	3,588	1,026	960	967	+6	+28
30		アセット関連損益	99	-41	6	181	245	106	370	38	-332	+31
31		経常利益	377	291	373	473	1,516	492	551	356	-194	-16
32		セグメント利益	351	176	278	432	1,238	391	225	252	+27	-25

* 本部勘定である「調整額」を含むため、合算値とは一致しない

アセット関連損益(四半期別)

(億円)		2024/3期					2025/3期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	前四半期比	前年同期比
1	カスタマーソリューション	1	0	6	16	24	7	2	6	+3	0
2	売却損益	1	0	6	16	24	7	2	6	+3	0
3	減損等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	環境エネルギー	0	-32	-	47	15	0	-40	0	+40	0
5	売却損益	0	26	-	47	73	0	-	0	0	0
6	減損等	-	-58	-	-	-58	-	-40	-	+40	-
7	航空	10	2	-6	43	49	77	19	26	+6	+32
8	売却損益	10	2	20	43	77	79	40	26	-14	+6
9	減損等	-	-	-26	0	-27	-1	-21	0	+21	+26
10	ロジスティクス	19	15	15	1	52	20	13	5	-7	-9
11	売却損益	19	15	15	1	52	20	13	5	-7	-9
12	減損等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	不動産	67	-28	-8	72	103	0	375	0	-375	+8
14	売却損益	67	26	-	106	201	13	370	9	-361	+9
15	減損等	-	-55	-8	-34	-98	-12	4	-9	-13	0
16	アセット関連損益 合計	99	-41	6	181	245	106	370	38	-332	+31
17	売却損益	99	72	42	215	429	120	428	47	-380	+5
18	減損等	-	-113	-35	-34	-183	-14	-57	-9	+48	+26

(注) 売上総利益ベース

セグメント別特記事項(アセット関連損益を除く)

		2024/3期	2025/3期
1	カスタマーソリューション	4Q: 【+】 政策保有株式等の売却損益:約55億円	1Q: 【+】 関係会社株式等の売却益:約30億円 2Q: 【-】 個別案件における大口の貸倒関連費用:約10億円
2	海外地域	1Q: 【+】 米州における子会社再編の影響:約10億円 【-】 米州における市況悪化にともなう貸倒関連費用:約20億円 3Q: 【-】 米州における市況悪化にともなう貸倒関連費用:約40億円 4Q: 【-】 米州における市況悪化にともなう貸倒関連費用:約90億円	1Q: 【-】 米州運送セクター等における貸倒関連費用:約40億円 2Q: 【-】 米州運送セクター等における貸倒関連費用:約80億円 3Q: 【-】 米州運送セクター等における貸倒関連費用:約90億円
3	環境エネルギー	1Q: 【+】 子会社の吸収合併にともなう税金費用の減少*:約20億円 4Q: 【-】 個別案件における一過性費用の計上:約10億円	1Q: 【+】 海外インフラ案件の持分売却益:約10億円 2Q: 【-】 国内再エネプロジェクト案件の貸倒関連費用:約85億円 【-】 持分法投資損失の先行計上:約20億円 3Q: 【-】 持分法投資損失の計上:約20億円 【+】 国内再エネプロジェクト案件の貸倒引当金の戻入:約10億円
4	航空	1Q: 【-】 MHC保有の航空機リース取引に係る為替評価損:約15億円 2Q: 【+】 貸倒引当金の大口戻入:約40億円 【-】 MHC保有の航空機リース取引に係る為替評価損:約25億円 3Q: 【+】 貸倒引当金の大口戻入:約15億円 4Q: 【+】 税金費用の戻入*:約15億円	1Q: 【+】 JSAの決算取込期間の調整による増益効果*:約60億円 【+】 MHC保有の航空機リース案件の持分売却益:約20億円 【-】 MHC保有の航空機リース取引に係る為替評価損:約15億円 2Q: 【+】 MHC保有の航空機リース取引に係る為替評価益:約15億円
5	ロジスティクス		
6	不動産	1Q: 【+】 CPDの完全子会社化にともなう特別利益*:約48億円 2Q: 【-】 税金費用の増加*:約15億円	2Q: 【+】 御幸ビルディングの大口売却・株式譲渡に係る増益効果*:約70億円
7	モビリティ		
8	調整額	1Q: 【+】 米州における子会社再編の影響:約15億円 4Q: 【+】 政策保有株式等の売却損益:約40億円	1Q: 【+】 JSAの決算取込期間の調整による増益効果*:約33億円

(注) 税引き前ベース。ただし、*については税引き後ベース

セグメント別資産残高

(億円)		2023/3期末	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比(増減)
1	カスタマーソリューション	32,277	29,665	29,438	-227
2	構成比	33.5%	29.1%	27.1%	-2.0pt
3	海外地域	26,442	30,708	31,925	+1,217
4	構成比	27.5%	30.2%	29.3%	-0.9pt
5	環境エネルギー	4,332	4,166	5,034	+868
6	構成比	4.5%	4.1%	4.6%	+0.5pt
7	航空	16,402	20,200	24,296	+4,096
8	構成比	17.0%	19.8%	22.3%	+2.5pt
9	ロジスティクス	10,929	10,990	12,027	+1,036
10	構成比	11.4%	10.8%	11.1%	+0.3pt
11	不動産	4,472	5,254	5,319	+65
12	構成比	4.6%	5.2%	4.9%	-0.3pt
13	モビリティ	414	519	561	+41
14	構成比	0.4%	0.5%	0.5%	0.0pt
15	調整額	1,058	290	167	-122
16	構成比	1.1%	0.3%	0.2%	-0.1pt
17	セグメント資産残高 合計	96,329	101,794	108,770	+6,976

セグメント別契約実行高

(億円)		2023/3期3Q	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比(増減)	前年同期比(増減率)
1	カスタマーソリューション	6,796	7,287	6,617	-670	-9.2%
2	海外地域	9,893	10,371	10,461	+90	+0.9%
3	欧州	5,471	6,018	6,620	+602	+10.0%
4	米州	3,048	3,193	2,750	-443	-13.9%
5	中国	541	278	197	-80	-29.1%
6	ASEAN	832	881	893	+12	+1.4%
7	環境エネルギー	287	143	164	+20	+14.4%
8	航空	1,424	2,802	4,502	+1,699	+60.7%
9	ロジスティクス	462	291	1,845	+1,553	+532.4%
10	不動産	516	1,150	1,364	+214	+18.7%
11	モビリティ	216	119	82	-37	-31.0%
12	調整額	-	-63	-	+63	-
13	契約実行高 合計	19,597	22,103	25,038	+2,935	+13.3%

セグメント別貸倒関連費用

(億円)		2023/3期3Q	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比(増減)	前年同期比(増減率)
1	カスタマーソリューション	-6	22	39	+17	+79.1%
2	海外地域	42	123	281	+158	+128.4%
3	欧州	30	38	49	+10	+27.9%
4	米州	0	77	212	+135	+174.5%
5	中国	8	13	8	-5	-37.6%
6	ASEAN	2	-6	11	+17	-
7	環境エネルギー	7	1	73	+72	+6,706.8%
8	航空	8	-64	-9	+54	-
9	ロジスティクス	0	0	0	0	-
10	不動産	24	1	12	+10	+742.8%
11	モビリティ	0	0	0	0	-
12	調整額	0	0	0	0	-229.2%
13	貸倒関連費用 合計	76	83	396	+313	+374.7%

連結損益計算書 関連項目

(百万円)		2023/3期3Q	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比(増減)	前年同期比(増減率)
1	売上高	1,410,472	1,425,097	1,551,957	+126,859	+8.9%
2	売上原価	1,145,809	1,155,066	1,205,454	+50,388	+4.4%
3	資金原価	95,184	150,333	199,576	+49,242	+32.8%
4	売上総利益	264,662	270,031	346,503	+76,471	+28.3%
5	販売費及び一般管理費	158,277	168,386	208,597	+40,210	+23.9%
6	人件費	82,529	89,762	91,798	+2,036	+2.3%
7	物件費	65,481	68,501	75,483	+6,982	+10.2%
8	貸倒引当金	10,266	10,123	41,314	+31,191	+308.1%
9	営業利益	106,384	101,644	137,905	+36,261	+35.7%
10	経常利益	109,666	104,301	140,038	+35,737	+34.3%
11	特別利益	9,218	8,531	8,037	-494	-5.8%
12	特別損失	2,572	463	21,311	+20,848	+4,497.2%
13	税金等調整前四半期純利益	116,312	112,369	126,763	+14,394	+12.8%
14	親会社株主に帰属する四半期純利益	85,927	80,581	87,016	+6,435	+8.0%

連結貸借対照表 関連項目等

(百万円)		2023/3期末	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比(増減)	前期末比(増減率)
1	現金及び預金	589,688	366,478	282,080	-84,397	-23.0%
2	自己資本	1,528,773	1,685,267	1,788,831	+103,564	+6.1%
3	純資産合計	1,551,029	1,705,345	1,805,853	+100,507	+5.9%
4	総資産額	10,726,196	11,149,858	11,805,106	+655,247	+5.9%
5	セグメント資産残高	9,632,966	10,179,473	10,877,076	+697,603	+6.9%
6	営業資産残高	9,311,185	9,825,993	10,429,748	+603,755	+6.1%
7	持分法投資残高	163,109	177,850	279,563	+101,712	+57.2%
8	のれん・投資有価証券等	158,670	175,629	167,764	-7,864	-4.5%
9	破産更生債権等	99,912	122,035	104,817	-17,217	-14.1%
10	貸倒引当金	68,806	66,983	57,696	-9,286	-13.9%
11	ネット破産更生債権等	31,106	55,051	47,121	-7,930	-14.4%
12	自己資本比率	14.3%	15.1%	15.2%	+0.1pt	-
13	ROE	8.2%	7.7%			
14	ROA	1.1%	1.1%			

連結貸借対照表 関連項目等(続き)

(百万円)		2023/3期末	2024/3期末	2025/3期3Q末	前期末比(増減)	前期末比(増減率)
15	有利子負債	8,236,106	8,439,792	8,944,032	+504,239	+6.0%
16	間接調達	4,846,586	4,919,380	5,092,429	+173,048	+3.5%
17	直接調達	3,389,520	3,520,411	3,851,603	+331,191	+9.4%
18	CP	559,485	784,178	870,147	+85,969	+11.0%
19	債権流動化	604,302	565,959	575,052	+9,093	+1.6%
20	社債	2,225,731	2,170,273	2,406,402	+236,129	+10.9%
21	直接調達比率	41.2%	41.7%	43.1%	+1.4pt	-
22	長期調達比率	82.5%	82.5%	82.0%	-0.5pt	-
23	外貨調達比率	56.3%	60.6%	62.0%	+1.4pt	-

主な海外子会社決算に適用する為替レート*

	12月決算の主な海外子会社		3月決算の主な海外子会社			
	2024/3期3Q	2025/3期3Q	2024/3期3Q		2025/3期3Q	
24 損益計算書(PL)適用レート	1\$=138.11円	1\$=151.29円	1£=179.52円	1\$=143.29円	1£=195.43円	1\$=152.57円
	2024/3期末	2025/3期3Q末	2024/3期末		2025/3期3Q末	
25 貸借対照表(BS)適用レート	1\$=141.83円	1\$=142.73円	1£=191.22円	1\$=151.41円	1£=199.02円	1\$=158.18円

* 12月決算の主な海外子会社⇒PLは1月～9月の期中平均レート、BSは2024/3期末:2023年12月末時点、2025/3期3Q末:2024年9月末時点の為替レートを適用
3月決算の主な海外子会社⇒PLは4月～12月の期中平均レート、BSは2024/3期末:2024年3月末時点、2025/3期3Q末:2024年12月末時点の為替レートを適用

ホームページ上で掲載している主な当社に関する情報

2025中計進捗 (2024年3月期決算発表時点)



2024年3月期からの3年間を対象期間とする中期経営計画「2025中計」について、進捗状況を掲載。



統合報告書



中長期的な価値創造の全体像や経営戦略、業績、ESG情報などの財務情報・非財務情報をあわせて掲載。



ESGデータブック



ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する取り組みやデータについて掲載。



決算データシート



過年度の決算関連計数について、Excel形式で掲載。



インベスターズガイド



当社グループについて、基本情報やセグメントごとの事業内容などを掲載。



事業別説明会資料



過去に実施した事業別説明会資料を掲載。



個人投資家向け資料



過去にオンラインで実施した個人投資家向けの会社説明会資料を掲載。



お問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション部
03-6865-3002



当社HPアドレス

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>



三菱HCキャピタル 検索



CMタイトル

「未踏の地への挑戦も、その一歩から。」



三菱HCキャピタル



TV CMギャラリー

CMおよびCMの
メイキング映像を
公開しています。



CM Gallery



30秒バージョン



15秒バージョン

Making



